

令和5年度 マリンスポーツフェスタin碧南2023



日程：令和5年5月20日～5月21日
主催：公益社団法人日本モーターボート選手会
公益財団法人マリンスポーツ財団
後援：碧南市、日本財団
場所：勤労青少年水上スポーツセンター



目次

開催目的、イベントスケジュール	2
イベント風景	
開会式	3
ボランティア活動についての講話・実践活動	4
体験乗船会（招待客）記念品贈呈	5
体験乗船会（一般客）	6
ボランティアを体験した中学生から届いた感想文	7
ペアボートドライバー協力選手	8
参加・協力団体一覧	9

マリンスポーツフェスタin碧南

・開催目的

この行事は、地元福祉施設の方々や青少年をはじめとする周辺地域の方々を対象に、スーパーキッズボートやスーパージェットボート、ペアボート等の体験乗船会を実施するもので、広くマリンスポーツを楽しむ機会の提供及びマナーや安全に対する啓発を行うことで、マリンスポーツの普及活動の定着を図り、総合的な碧南市圏域の活性化に寄与することを目的とする。

・イベントスケジュール

期 日	時 間	内 容
5月20日 (土)	9:00	・スタッフ集合(ミーティング・準備)
	9:15	・ボランティア活動についての講話
	10:00	・碧南市民吹奏楽団演奏会
	10:15	・開会式
	10:30	・体験乗船会(招待客) (スーパーキッズボート/スーパージェットボート)
	12:00	・閉会式
	12:20	・昼食
	13:20	※午後の乗船会は機材トラブルの為中止
	14:10	・器材整理
	14:50	・解散
5月21日 (日)	9:00	・スタッフ集合(ミーティング・準備)
	10:00	・体験乗船会(スーパーキッズボート/バナナボート)
	10:40	・体験乗船会(スーパージェットボート)
	11:20	・体験乗船会(ペアボート)
	12:00	・昼食
	13:00	・体験乗船会(ペアボート)
	13:45	・体験乗船会(スーパージェットボート)
	14:30	・器材整理
15:10	・解散	

開会式

日程:5月20日(土) 10時15分～

場所:プール棟横駐車場

開会式 所長代理挨拶



「おはようございます。日頃より、碧南市の皆様には当会の活動にご理解、ご協力頂きましてありがとうございます。昨日の天候から打って変わり天気にも恵まれ、4年ぶりにマリンスポーツフェスタを開催することができ、大変うれしく思います。私たちモーターボート選手会も多くのボートレーサーが公益活動を行っており、ボランティアの輪を広げていけるよう尽力しております。ボランティアの中学生の皆様、参加者の皆様本日はマリンスポーツを楽しんでいってください。」

石井拓衆議院議員



「マリンスポーツフェスタ4年ぶりの開催おめでとうございます。以前、油ヶ淵は日本で2番目に汚れた天然湖沼でしたが、地域の皆様と近隣の企業や団体の皆様のご協力のおかげでかなり水質改善されてきております。またより皆様を楽しめるよう油ヶ淵周辺の公園化も進んでおります。そんな中、このマリンスポーツフェスタは先駆けて、油ヶ淵の親水イベントとして長く開催して頂いており、多くの近隣地域の方たちにご参加いただき、大変感謝しております。怪我に気を付けて、招待客の皆さん、ボランティアの中学生の皆さん、楽しんでいってください。」

金沢宏治碧南副市長



「本来なら市長の禰亙田がご挨拶させていただきますところ、公務多忙のため代理でご挨拶をさせていただきます。本日は4年ぶりにマリンスポーツフェスタを開催されるということで誠にありがとうございます。碧南市として日本モーターボート選手会、マリンスポーツ財団、ボランティアスタッフの皆様には大変感謝しております。関係者の皆様が一生懸命準備をしてくださったので、参加者の皆様は暑い日となりますので、体調管理には気を付けて楽しんで頂ければ幸いです。」

杉浦哲也愛知県議会議員



「モーターボート選手会様をはじめ、沢山の方たちのご協力のおかげでマリンスポーツフェスタが開催できることを大変感謝しております。日頃より碧南市の様々な事業にご協力を賜りまして改めてお礼申し上げます。油ヶ淵は2級河川で県が管理をしております。愛知県としても油ヶ淵周辺地域活性化のために公園化計画を進めており、皆様により一層のご協力を賜りますようお願いいたします。本日は思い出に残るような一日になれば幸いです。」

ボランティア活動についての講話・実践活動

日程:5月20日(土) 9時15分～

場所:競技棟3階研修室

ボランティア講座「ボランティア活動について」



子どもたちと乗船体験をする中学生スタッフ



子どもたちとレクリエーションをする中学生スタッフ



碧南市社会福祉協議会馬場信行氏をお招きし、「ボランティア活動について」と題した講座を開会式前に行い、地元の西端・東中学校の生徒18名が受講しました。

その後、実践活動として、近隣施設から招待された参加者にライフジャケットの着脱や乗船のサポートを行いました。

始めは不安や戸惑いをみせていた中学生も、招待客とふれあうことでやりがいを見つけ、招待客と共に楽しんでいる姿が印象的でした。

体験乗船会(招待客)記念品贈呈

日程:5月20日(土)

スーパージェットボートを体験



スーパーキッズボートを体験



記念品贈呈



招待客の中には、初めてのボート乗り体験に最初は不安そうな表情を浮かべる方もいましたが、ボランティアスタッフのサポートもあり、徐々に水に親しみ、のびのびとマリンスポーツを満喫していました。

非常に暑い日差しではありましたが、乗船して爽やかな風に吹かれると皆さん気持ちよさそうにしているのが印象的でした。

イベントの最後には、参加された方々一人一人に、記念品をお渡しすると、皆さん満面の笑顔で「ありがとう」とお礼の言葉を頂きました。

体験乗船会(一般客)・乗船者数

スーパージェットボート



バナナボート



BOAT RACE用ペアボート



種 目	乗船者数		
	20日(土)	21日(日)	合 計
スーパーキッズボート	66	40	106
バナナボート		7	7
スーパージェットボート	30	42	72
BOAT RACE用 ペアボート		68	68
合 計	96	157	253

ボランティアを体験した中学生から届いた感想文

中学3年 女子生徒

ボランティアに参加して、自分とは違う特徴を持った人と触れ合う、それも、小さい子と触れ合うことの大変さを知りました。私の姉も、発達障がいを持っていて、日頃から自分とはかけはなれた考え方、できること、できないことの区別に理解できずにいました。でも、今回、このボランティアで、大変ながらも、何をしてもらえたら、うれしいのか、や、どう接するのが正しいのかを学ぶことができました。これからはこのボランティアでの体験を生かし、姉や周りの人のサポートができたかなと思います。また機会があれば参加したいです！！

中学2年 女子生徒

ボランティア自体は色々やっていたけど、人と関わるボランティアはやったことがなかったで興味本位で参加してみました。人と関わるといっても、体に障害のある人の相手なので、少し不安もありましたが、実際はすごく楽しくやりがいがありました。私はこの経験で何事もまずはやってみることが大切だと思いました。また、ボートに乗れるという、日常ではあまり経験のできない体験ができ、他の学校の人も仲良く話せました。来年もこのような機会があると知ったので、ぜひ参加したいと思いました。

中学1年生 男子生徒

ぼくの担当は、同級生の「ほういちろう」くんという子でした。南中学校の子でした。最初にあったときは、ふつうの子だなと思いました。でもほういちろうくんのお父さんが自分の思ったことをうまく言えないと教えて、くれました。なのであまり自分もほういちろうくんもしゃべることができませんでした。しゃべったとしても、ボート楽しかった？とかマリンスポーツ何回目？とかしか話せず会話が続きませんでした。でもレクの時間には、次あれ行とかボーリング勝負ねとかボートの時より会話が進みぼくもほういちろうくんも笑うことができました。ボランティアに参加したことでたとえ初めてあった人でもしょうがいをもっていても少しずつつきよりを近づけていくことでいっしょに笑って楽しむことができる友達になれることがわかりました。これからもどんな人とでも笑い合える友達になれるようにがんばりたいです。

中学1年生 女子生徒

マリンスポーツフェスタボランティアに参加して、見ためは変わらないのに障がいがあり、話してみるまで分からない子がいることに気がつきました。

私は知的障がいの子と接して感情が高ぶったり、身の回りの行動の準備に時間がかかることを感じました。そして、私が接して一番感じたことは、「コミュニケーション」です。早く話したり、長く話すとう理解ができないことがあり、ゆっくりと短く、やさしく話すことで本人の思いを聞くことができ自然と笑顔が生まれていきます。

その子のお母さんと話せて、「いつもひかえめで、だまってしまうからこんなに楽しそうなのは久しぶり」と言ってもらえました。私は大変だったけれど、人を手助けする大切さ、見守る大切さ、達成感を感じることができました。私も、また機会があればやってみたいと思いました。

中学1年 女子生徒

私は今回ボランティア活動をして、助け合う大切さを知りました。私は今までも助け合いを大切にしていたけど、あらためて知れました。今回はあまり接することがない、障害のある人とやったけど、とても楽しくて障害があっても、なくても、同じように楽しむことが必要だと思いました。私はあまりボランティア活動に参加することが少なかったけど、今回ボランティアしたことで笑顔をたくさん見ることができました。とてもうれしかったのでこれからも積極的に参加していきたいです。参加をすることで、自分もうれしいし、相手もうれしくなると思っています。ボランティア活動とは自分の中で周りの人を笑顔にできるようなことだと思います。笑顔にするのは協力や助け合いがあるからだだと思います。今回で笑顔のすばらしさというのを知ることができました。笑顔とは幸せという意味なのかなと思います。これからもじぶんからみんなを笑わせたり助けられるよう「身近なボランティア」を自分でやっていきたいです。そうすることでボランティアの大切さを知れると思います。

中学1年 女子生徒

マリンスポーツフェスタボランティアに参加して、たくさんのことを学びました。私は小学2年生のことボートに乗ったり、遊んだりしました。いっしょにしゃべったり、遊んだりするときには目せを合わせたり、表情も意識して優しく接することができました。私が頑張ったことは、仲よくなるということです。自分から質問したり、いっしょに歩いたりなど、どうやったら仲よくなれるのかを考えました。結果ははじめよりかは仲よくなれたかなって思います。仲よくなれてよかったです。全体を通していうとマリンスポーツフェスタボランティアは大変なこともあったけど、すごく貴重な体験で楽しくてたくさん学べたいボランティア活動でした。またボランティア活動があったら今回のことを生かしてやりたいです。今回はあまり仲よくなれなかったので次回はめっちゃ仲よくなりたいです。ボートはすごく楽しくて新しい体験ができてすごい、いい思い出になりました。最後に全体のまとめです。初めてのボランティアで不安だったけど、いっしょに遊んだ人やボランティアの人と協力してできました。ボランティアではたくさんのことを学ぶことができ、すごくいい体験でした。上手くいった部分もあったけど、できなかったこともあったので、もしまたボランティアがあったら、今回のことを生かして頑張りたいです。

※感想文は、原文のまま掲載しています。

ペアボートドライバー協力選手



ペアボート協力選手

登録番号 4 9 9 9 号 沓名 貴輝

登録番号 5 0 9 8 号 大江 純

登録番号 5 1 6 6 号 仲道 大輔

登録番号 5 2 4 5 号 倉富 大誠

参加・協力団体一覧

招待客	20日	21日	計(延べ)
にじの学園	13		13
親子の会カラフル	9		9
ひまわり会	3		3
西端小学校特別支援学級	10		10
西端幼稚園		16	16
西端保育園		22	22
小計	35	38	73

協力団体	20日	21日	計(延べ)
碧南市立西端中学校	13		13
碧南市立東中学校	5		5
中学校関係者(引率教員)	2		2
碧南市社会福祉協議会	1		1
碧南市青少年育成委員推進連絡会	6		6
碧南おやじの会	11		11
油ヶ渚サポーターズクラブ	1	1	2
全日本モデルパワーボート連盟	2	2	4
SSS	5	6	11
愛知ライフセービングクラブ	3	3	6
碧南市民病院	1	1	2
HEXPO	14		14
マリスクラブ碧南	11	14	25
碧南市民吹奏楽団	21		21
マリンスポーツ財団	3	3	6
小計	99	30	129

招待客 延べ 73名

協力団体 延べ 129名

体験乗船者数 延べ 253名

公益社団法人 日本モーターボート選手会
常設訓練所